



新型コロナウイルスワクチンの廃棄について

このたび、桐生市において使用期限が切れたモデルナ社製新型コロナウイルスワクチン2760回分程を廃棄することとなりました。

ワクチンの配給につきましては、1・2月に4月中（4/11、4/30）期限と、今月10日期限の2万4150回分が届きました。

4月中期限の1万6800回分は使い切りましたが、今月10日期限の7350回分のうち、2760回分程が残る見込みとなっております。

これまで、市内の医療機関や福祉関係施設に勤める医療従事者や福祉施設従事者、また遠方から群馬大学に入学された学生には、住所が市外であってもワクチン接種を受け入れておりました。

また、過日は、予約なしでも接種を可能にする集団接種も実施いたしました。

出来る限りワクチン接種の間口を広げた運用を行ってまいりましたが、ワクチン接種のニーズが想定以上に伸び悩んでいる状況にあります。

市内の動向として、ファイザー社製ワクチンでの接種を求める気運が高く、発熱や倦怠感等のモデルナ社製ワクチンでの副反応を危惧される方が多いものと考えております。

市民の安全安心を最優先として、慎重に慎重を重ねてワクチン接種を行ってきた結果として廃棄に至ってしまったことにご理解をいただきたいと思っております。

これからも、ワクチン接種の実施につきましては、市民の安全安心を第一に行ってまいりたいと考えております。

よろしく願いいたします。



問い合わせ

保健福祉部地域医療感染症対策室

地域医療係

TEL 0277-46-1111（内線305）